

墨田区議会議員 山本とおる

12

2010

T O O R U T S U S H I N  
**とおる通信**

山本とおるから皆様へ… 区政の報告です

皆様、一年間お疲れ様でした！

来年4月の任期まで、さらにパワーアップして皆さんのお声を区政に反映させていきますので、引き続きご指導を賜ります様お願い申し上げます。

来年が、もっと素晴らしい年となります様お祈り申し上げます。



# 平成22年10月22日から平成21年度決算特別委員会が開かれました。

私も委員会メンバーとして計8回間、昨年度の決算内容について理事者側との真剣な質疑に加わりました。ひとつひとつの議論が来年、平成23年度の予算編成につながる大事な委員会審査です。様々な質問をし、自分の考え方と提言、要望を行政側に伝えました。

私が区側にした質問のうち主なものを報告致します。

昨年、専門家委員会を設置して検討し、この22年度前半に開催されました  
『外部評価委員会』の結果報告について…

私が議員になって3年半、早期の実現を要請していた第三者の目による区の事業・施策の評価です。報告書を見ましたが、大変いい内容です。3年間かけて全体に広げるではなく、もっとスピード感をもつて、積極的に各事業、施策の評価を受けるよう改善するべき。

区の「行政改革・人員の削減ばかりを言うが人口25万人を突破し大丈夫か?」  
また区役所庁舎内が狭く、どちらかこちやしそぎ…来庁舎を意識したもっと効率的なレイアウトに!

職員のレベルアップには、もっと効果のある研修を取り入れた方が良い。

広告収入料のアップ施策について…新タワー効果もあり、前向きに考えるべき。

区の外郭団体「文化振興財団」の運営状況について

「トリフオーネーホール」の指定管理者としての担当能力に疑問。経費削減や営業努力など自立化に向けた職員の一層の奮闘が必要。

25年秋オープン予定の『すみだ北斎美術館』…もっとオープンな議論を!

子ども手当の財源問題について…区費として4億円弱を負担(許せません!)

政権交代選挙の目玉であった『子ども手当』の財源、全額国費で! 新聞では23年度も同様に「区負担ありと書かれていたが、区長会、議長会として菅総理に厳しく抗議するべきではないか?

特別養護老人ホーム建設助成について…800人近くの待機者解消が課題。

「すみだスタンプ事業」IT化推進経費  
会員、利用店舗の勧誘は区商連幹部、オールすみだで協力して目標達成に向かうべき。

東京スカイツリー、いよいよ24年春の街びらき!  
オープニングに向けて区民全体会が参加し、よろこび、思い出に残るようなイベント企画、お祭りムードを今から準備しなくては!(B級グルメなど)  
「スカイツリーは歴史をきぎむが、オープニングの記念は一度しかない!」

議会改革について  
「さらなる開かれた議会」実現に向けて、各委員会のインターネット放映導入を。

教育費の質疑  
1. 学校の一ICT化について…ヘルプデスクや支援の体制をしっかりと整えるべき。  
2. 特別支援学級の増設について

3. 区立学校適正配置計画  
小1・2年生は23年度から1学級35人制となるが計画に影響はあるか?

4. 校舎耐震改修について  
当初23年度末に全校完了の計画が遅れている…24年度終了時までと答弁あり。

5. 区営運動施設のインターネット抽選導入(昨年から一部実施)  
導入してみての検証作業、区民の声をしっかり聞き改善するべし。

実質6日間にわたり毎日時間をいただいて、自分なりに着眼した、

区政における大事な点を質問し、区や区長さんの考え方を聞くこと

ができました。また指摘した事柄については、理事者のみなさま、職員のみなさんが斟酌して改善していくものと思っています。

02

03

04

05



## 皆さん、こんにちは！

一年の経過は本当に早いもので、平成22年も年末を迎えようとしています。私にとりましても、父との別れをはじめ激動の年ではありました。お陰さまで大変充実した仕事の出来た一年となりました。

墨田区は、平成24年春にいよいよ開業を控える東京スカイツリーの話題で注目を浴び、活性化の兆しを見せてはいますが、本区の課題は依然として多く、ここで気を抜かない！向かうべき方向を間違ってはならない！という厳しい状況にあることも事実です。

そして区議会議員の役割が本当の意味で重要であり、議員は区民目線の政治を心掛けて皆さんの為に、より一層の努力と研鑽を積み、広く情報発信をしなければいけない時代に突入したことを実感しています。来年4月の任期まで、さらにパワーアップして皆さんの声を区政に反映させていきますので、引き続きご指導を賜ります様お願い申し上げます。

# 決算特別委員会 意見開陳

決算特別委員会の最終日。各会派の意見開陳が行われました。



わが会派の出しました結論は…

- ・一般会計決算については不認定！！
- ・国民健康保険特別会計ほか、3件については認定という意見の開陳

『認定することはできない！』という大変重い、墨田区議会史上はじめてという決断をさせていただきました。私も委員の一人として、また会派所属の議員としてこの場に立ち会いましたが、

- ・一つは、ある意味苦渋の決断であった…
- ・いま一つは、今回の委員会を通して税金の無駄使いを始め、理事者側にも大いに反省していただきたいことが、数多く存在したという事実において、肅々と結論を出した。

私自身、このような二通りの複雑な思いを持つものです。私たち会派所属議員も、この結論に対ししっかりと説明責任を果たさなければなりません。今後も区行政のチェックを責任を持って続けてゆくことが重要です。区の職員の皆さんには、この結論を謙虚に受け止めていただき、反省点があるとすればそれを改善して、パブリックサーバントとして区民のためにより良い行政を遂行していただきたいと望むものです。

以上、決算特別委員会の報告でした。

## 私の考え

### 区行政への提言

今回の特別委員会の議会側と行政側との質疑の中で、議論がかみ合わない点が多く見受けられました。

質問者の質問力、答弁者の答弁力それぞれを向上させる事も必要ですが、一番強く感じたのは、区側がもっと我々議会側へ情報開示、情報提供をするべきであるという事です。一緒に情報量と土台にあれば、もっと建設的な、具体的な議論が出来ると思います。今後の大きな課題として、区行政に改善を求めていきたいと思っています。

### 議会改革について

今後私たち区議会議員の課題は、墨田区議会を自らどのように改革していくかという事です。32人の定員を持つ区議会として、また一議員として機能を充分に果たしているのか？その仕事ぶりを区民にしっかりと情報発信しているのか？そのように考えた時に議会は何を改善していくべきか？

議員には大きな責任があり、同時に自らを省みて変えるべきは変えるという姿勢を持つ事も重要であります。また区行政に対してはスピード感を指摘するが、我々にも必要です。反省も含め、「墨田区議会の改革」を真剣に考えていく時期であると思っています。是非、皆さんのご意見をお聞かせ下さい。



# MAKE NEW すみだ !!

墨田区議会議員 山本 とおる

自由民主党墨田区議会議員 山本とおる  
とおる通信  
TOORU TSUSHIN